

2018 vol.52

# UR

UR都市機構の情報誌 [ユーアールプレス]

# P R E S S



特集

## おいしい 団地

元気な団地へ  
行ってみよう!



Special  
Interview

子育てで大切なのは「笑い」と「共感」  
コミュニケーションの  
極意でもありますね

タレント

関根 勤 さん



01 暮らしのカケラ④ 「季節と義務感」 角田光代

03 Special Interview 未来を照らす⑬

### 関根 勤

さん タレント

子育てで大切なのは「笑い」と「共感」  
コミュニケーションの極意でもありますね



07 特集

## おいしい団地

元気な団地へ行ってみよう！

09 関東・中部・関西・九州の団地から  
評判の「おいしい店」16店が大集合！

15 元気なみさと団地に行ってみよう！



21 URのまちづくり最前線⑥

生まれ変わった広島駅周辺が新たなにぎわいのまちになる  
二葉の里土地区画整理事業、関連公共施設整備  
(広島県広島市)



23 URのまち あのまち・このまち・歩いてみよう！ その⑩

大泉学園駅周辺(東京都練馬区)

25 復興の「今」を見に来て！⑫

「オール女川」パワーで親睦を深め、復興に励む！  
宮城県女川町  
節目の日を迎え新たな生活のステージへ  
岩手県大槌町



29 ベランダで楽しむ 四季の寄せ植え④ 黒田健太郎

壁掛けで楽しむ白いピオラとシルバーの葉物



30 防災グッズの新常識④ 高荷智也

避難所へ行かない「在宅避難」の準備

30 男子弁当のススメ！⑦ 相田幸二

カキわっぱ弁当

31 プレゼント付きクロスワードパズル

32 UR INFORMATION

季刊「UR PRESS」Vol.52  
2018年1月31日発行

発行 独立行政法人都市再生機構  
〒231-8315  
神奈川県横浜市中区本町6-50-1 横浜アイランドタワー  
Tel 045-650-0882 Fax 045-650-0889

制作 新潮社、編集室りっか  
デザイン 太田デザイン事務所  
印刷 大日本印刷  
※本誌掲載の記事、写真、イラスト等の無断転載を禁じます。  
※本文中の肩書きは取材時のものです。

### 表紙の世界

今回の絵を描くために「団地カフェ」というキーワードで調べたら……  
温もりのある素敵な空間の写真がたくさん出てきました。  
街のカフェとはまた違う  
リラックス感に、  
思わず訪ねてみたくなりました。

イラストレーション  
小林マキ



角田光代

暮らしのカケラ

3

## 季節と義務感

ち

よっとしたことでも、一度は始めると、なかなかやめられなくなる季節行事はけっこう多い。たとえば梅干し作りだ。私の亡き母は、「どういうわけだか「梅干しは、作りはじめたら毎年作らなければならない」と言っていた。毎年作っているのに、ある年でやめると何か変化が起きるのだ、とんだかおそろしい迷信のようなことを言っていた。私はその出どころも根拠も不明な迷信を信じてはいない。いないのだが、なんとなく六月が近づくと、「梅干しを作りたい」ではなく「作らなくてはいけない」ような気持ちになる。

東京のある神社には有名なお守りがある。財布に入れるとお金が貯まる、というようなお守りだ。新しい年のお守りは、節分までの時期に売っている。私はその神社もお守りのことも知っていたが、とくに興味を持っていなかった。ところがあるとき、知人が、このお守りをくれた。そう言われているように財布に入れて一年を過ごした。そして翌年、節分が近づくと、なんだかこのお守りを更新しなくてはならないような気分になった。やむなくその神社に赴いてみると、お守りとお札を買う人で大行列。私も列に並びながら、「ああ、みごとにやめられないループにはまってしまった」と実感した。

子

どものころに実家で行われていた季節行事を、多くの人がいったんやめるときがあると思う。進学や就職をしてひとり暮らしをはじめたり、実家暮らしでも自分の用事に忙しくなったりして、家族とは季節ごとの行事をしなくなる。それでも、何かのきっかけで、親王催ではなく、今度は自分の意思で、または始める。新年のお参り、節分の豆まき、ひな祭りに五月の節句。私の場合は、いくつかは復活し、いくつかは自然に廃止してしまった。たとえばクリスマスは祝うが、節分の豆まきはしない。新年のお参りはもちろんいくが、おせち料理は作らない。

し

かしいったん何かは始めると、なぜか、やめるにやめられず、続けてしまう。それは私の個人的な性質なのだろうか。それとも、世間一般的な感覚だろうか。そんな私が、今警戒しているのは、節分の恵方巻きである。このところ、節分が近くなると、関東地方でもあちこちで恵方巻きの宣伝が始まる。私は最近までまったく知らなかったイベントだが、なんだかたのしそうではある。でも、やはりはじめたら、この先ずーっと二月三日には切っていない巻き寿司を食べ「なくては」ならないさそうで、近づかないように注意している。

かくだ・みつよ

作家。1967年、神奈川県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。1990年「幸福な遊戯」で海燕新人文学賞を受賞しデビュー。「対岸の彼女」(文藝春秋)での直木賞をはじめ著書・受賞多数。最新刊は「もう一杯だけ飲んで帰ろう。」(角田光代・河野文洋、新潮社)。



photo・T.Tetsuya



未来を

照らす

15

Special Interview

Tsutomu Sekine

芸能生活44年。  
お茶の間に明るい笑いを  
ふりまき続ける  
タレントの関根 勤さん。  
その元気の秘密は  
どこにあるのでしょうか？  
子育ての極意から、  
「お笑い界」への思いまで、  
たっぷり伺いました。

### テレビ大好きっ子から お笑いの道に

子どもの頃に住んでいた東京の家の近くには団地があり、友達もいました。団地には広い公園があって、よく遊びに行きました。砂場でビー玉のコースを作って、ビー玉が途中の落とし穴に落ちたら取られちゃう遊びとか、メンコとか。

芸能界に入ってから、仕事で団地に行きましたよ。夕食のメニューでビンゴを作って、「今晚のおかずはなんですか」と突撃質問する番組をやったこともあります。そしたら団地のみなさん同士が仲良しで、けっこう集まって来られるんですよ。あれはうらやましかったなあ。  
団地の中は一般道路を通らなくていいから車の危険もないし、公園にはみんなの目があるし、

安心して友達のところへ遊びに行けるでしょ。すごくいいなと思いましたね。

子どもの頃の僕は、とにかくテレビが大好きでした。ちょうど僕が生まれた昭和28年にNHKの放送が始まりまして、その頃はお金持ちしかテレビを買えないから、子どもは集まってテレビのあるお宅に見に行くんです。まさに魔法の箱でしたね。  
ターザンとかマイティ・マウスとか、動く漫画にもう心を奪われちゃって。

いまの天皇陛下のご成婚のときに、親父が頑張って、うちにもテレビが来たんですよ。僕が6歳くらいのおきかな。当時は貴重な高級電化製品ですから、見終わるとカーテンみたいな布のカバーをかぶせてね（笑）。僕は小学生のとき給食が食べられなくて、厳しい先生にいつも

居残りさせられていたんですよ。そのつらさをチャラにするために、家では食い入るようにお笑い番組を見たいんです。テレビが救ってくれたんですね。

いつしか自分も物まねをやるようになって、21歳のときに当時大人気だった「ぎんぎんNOW!」というバラエティ番組の「しろうとコメディアン道場」コーナーで5週勝ち抜き、チャンピオンになりました。そうしたら、大ファンのコント55号がいた浅井企画の社長から「芸能界でやってみないか。コント55号を育てた浅井が君の才能は保証する」って言われて舞い上がっちゃって。「じゃ、よろしくお願いします」と、あれは人生最大の調子こきでしたね（笑）。

### 子育ての極意は「笑わせること」

憧れていた芸能界に入ったものの、何の修業もなくポンと入っちゃったから、最初の10年は全然ウケなくて、仕事もあまりなかったんです。ちょうどその頃、娘の麻里（タレントの関根麻里さん）が生まれました。そ

## 子育てで大切なのは『笑い』と『共感』

## コミュニケーションの

## 極意でもありますね

## 関根 勤

さん タレント



と思うんです。人間って何か目標があれば頑張れますからね。僕は子育ての目標として、「明るい子にしたい。将来、人さまに迷惑をかけない子になってほしい。空気が読めるようになってほしい」と思ってたんですね。

れで、「自分の得意分野は何かな？ 娘を笑わすことだ！」と思っただけですね。自分の娘を笑わすことのできない芸人が、人さまを笑わせることができるのか、ってチャレンジですよ。とにかく娘の喜ぶ顔が見たくて、ずっとふざけていました。

例えばお風呂に入るときに裸になるでしょう。そうすると僕のお尻が娘の顔くらいの高さなんです。それでお尻をパーカッションにして娘に叩かせて、僕がお尻を振りながら「ケツケツケツケツ」と踊ったり歌ったり（笑）。麻里が笑ったことしか記憶がないくらい、常に笑わせていました。

子育てにも目標を持つといい

ことが大切だ」ということです。それが役に立ったのは、麻里が小学校4年生のとき。「勉強がつまらない」と言い出したので、「あの本のノウハウを使うのはここだ！」と（笑）。

「そうだよな、本当につまんないよな。歴史なんか、なんで何千年も前のことを詳しく覚えなきゃいけないんだ。ピラミッドがありました、でいいじゃないか（笑）」と、まずは1回のみ込むわけです。すると、子どもは「父親はわかってくれた」と安心するんですよ。

そのうえで「でもね、お父さんはそうやって逃げてきたら、大人になって自分がやりたいこ



一人娘の麻里さんを「笑わせる担当」だった、若き日の関根さん。

とが見つかったときに大変だった。麻里が将来何かやりたいときには、いま鍛えた脳が支えてくれるんだよ。だからいま勉強することが大切なんだよ」と。それから、あまり文句を言わなくなりました。

共感という点に関しては、子育てだけではなく、普段のコミュニケーションでもすごく大切だと思いますね。楽しい会話にするためには、まず相手が興味のないことをしゃべっちゃダメですよ。それと自慢話もいやですね。一番いいのはドジった話。

「ホテルのドアにカードキーを入れたのに、全然開かないから人を呼んだら、Suicaだったんだよな」（笑）。そうすると「私もあります！」って共感できるでしょう。それで会話が弾んで趣味が合ったら、どんな話を深めていけばいいんです。

### 芸能界で影響を受けた 欽ちゃんと小堺くん

芸能界に入って、今年で44年を迎えます。その間、いろんな方から影響を受けましたが、や

っぱり欽ちゃん（萩本欽一さん）には本当にお世話になって、お笑いのノウハウを教えていただきました。

例えば舞台では、メインで演じている人にお客さんの視線が集中するように、自分の出番以外はずっと気配を消す。セリフは極力言わず、体で表現しろとか、間合いの取り方とかね。あとは、藤山寛美さんと三木のり平さんの舞台を見に行けと言われて笑わせる、のり平さんは会場の空気を笑わす最後の人だ」と教えてくれました。

親の自分に何ができるかを考えてみる。決して難しいことじゃないんです。例えば最近子どもが大笑いすると話題の『えがな いえほん』を読むことから始めてみるのもいいのでは？

### コミュニケーションには 「共感」が鍵になる

子育てに関しては、本もずいぶん読みました。そのなかで一番覚えているのは、「共感する

小堺一機くんは『ぎんざNO W!』の2年後輩で、僕が27歳、小堺くんが25歳のときにコンビを組みました。彼は頭の回転が速くて、相当の切れ者。彼と出会って本当によかった。一人じやここまでこれなかったと思います。

35歳のときにカンコンキンシアターの座長になり、若手をプロデュースするようになってからは、全体が見えるようになりました。視聴者やディレクター、プロデューサーが何を求めているかを常に考えながらやっています。

孫が生まれてからは、もうかわいくてかわいくて、頭がおか

僕はいまもテレビとお笑いが大好きな一視聴者でもあり、テレビをよく見ます。自分が出演しているときには、若い芸人さんに僕のパスをどんどん投げます。彼らがそれをキャッチして、うまくシュートして笑いがとれると、うれしくてたまらない。

彼らをなるべく目立たせたいし、彼らにウケてほしいんです。だって、みんな「お笑い」の仲間だから。歌謡界や俳優界に負けないように、「お笑い界」も頑張っていこうという気持ちです。

### 朝ドラで、明るい お父さんを演じたい

孫が生まれてからは、もうかわいくてかわいくて、頭がおか

わいくてかわいくて、頭がおか

わいくてかわいくて、頭がおか



せきね・つとむ

1953(昭和28)年、東京都生まれ。TBSテレビ「ぎんざNOW」のしろうとコメディアン道場で初代チャンピオンになり、74年に芸能界入り。デビュー当初の芸名は「ラビット関根」、82年より本名の「関根勤」で活動。バラエティ番組を中心に、テレビ、ラジオ、CM、舞台など幅広く活躍中。

2月3日、4日に「関根 勤×柳原可奈子トークライブ 面白7」を日経ホール(東京都千代田区)で開催。



「UR PRESS」オンライン版で、パソコンやスマートフォンから関根勤さんのインタビュー動画をご覧ください。(2018年4月末まで)



WEB UR PRESS



藤寿司  
コスパ最高!



喫茶店 uzuビバレッヂ



白壁カフェ 花ごよみ



ロイヤルキッチン  
New Open!



タイ食堂 サワディーカー



Cafeここたの

# おいしい 団地 元気な団地へ 行ってみよう!

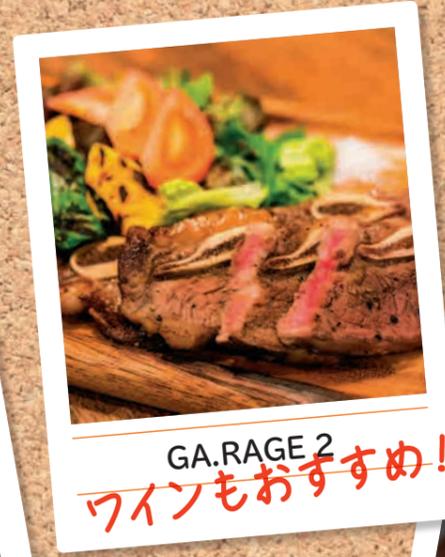
## 団地ごはん特集



団らん処 和菜屋



中華蕎麦 生る



GA.RAGE 2  
ワインもおすすぬ!

団地に住む人々の生活を支える、おなじみの商店街。昭和レトロな懐かしいお店の数々が並んでいるがその中に、団地の外からもお客さんが押し寄せる人気を誇る名店がある。商店街そのものを活性化しようと、さまざまな仕掛けを考えている団地もある。次の休日、そんなお店を探して、団地に足を運んでみませんか？



地域リビング プラスワン



soup curry 鳩時計  
野菜がおいしい!



かえん  
麵厨房 華燕  
やみつき担担麵!



洋菓子工房SAKON



Pilly's Bread Company  
やさしい味わい!



一本堂



らーめん ぎょうざ 治

## soup curry 鳩時計

ヘルシー＆スパイシー  
辛さが選べるこだわりの味

くるまがえし  
車返団地

店の一番のおすすめはチキンと野菜のスープカレー。ゆでたブロッコリーやカブ、素揚げしたカボチャやにんじんなど色とりどりの野菜が美しく、ほっこり煮込んだチキンレッグはフォークでほぐれるほどの柔らかさだ。5段階の辛さが選べるスープはあっさりとしていながら深みがあり、辛味ゼロであってもスパイシー。「お子さんからお年寄りまで召し上がれます。摂れる野菜が目に見えるのも好評です」と店主の栗原正典さん。栗原さんは車返団地に住み、以前は北海道から東京に出店したスープカレー店に勤めていたが、「自分が理想とするカレーを作りたい」「地域に貢献したい」と団地内で開業した。店の前は駅への通り道。昼ときには席待ちも出て、ランチを楽しむママたちも多く、地域の人気店になっている。



左/カフェのような明るくお洒落な店。お客さんは年配者が中心だが、ママたちや若いにも人気だ。

下/野菜もたっぷり摂れると人気のチキンと野菜のスープカレー(1180円)。



東京都府中市白糸台5-25-1 車返商店街内 ☎042-319-8102  
◎10～15時(LO.14時30分)、16時30分～19時(LO.18時30分) ㊟日曜



上/パクチー好きにはたまらない、パクチーとチキンのスープカレー(1180円)。左/栗原夫妻と奥さんの妹さんとで店を切り盛りする。今は全員車返団地の住人だ。

## タイ食堂 サワディーカー

本場タイの多彩な料理を  
ここから広めたい

りがしなかがが  
東中神団地



上/多彩な香辛料やハーブを使った料理は、見た目も美しくどれも美味。写真は手前から時計回りに「プー・パット・ポーン・カレー」(1350円)・鶏のバジルごはん目玉焼きのせ「ガバオ・ガイ・カイダーオ」(800円)・蒸し鶏のごはん「カオマンガイ」(800円)。



タイ料理を多くの人に知ってほしいと話す金沢さん。テイクアウトはもちろん、団地内には配達もする。

東京都昭島市玉川町1-7-102 くらロード商店街 ☎042-519-7099  
◎11～15時(LO.14時30分)、17時30分～22時30分(LO.22時) ㊟なし

## らーめん ぎょうざ 治らいおん百草店

名店の系譜を受け継ぎ  
地域で愛される味

ももも  
百草団地

府中の行列店「らいおん」で20年修業し、店主も務めた小川正治さんが、2012年に独立開業。「らいおんの味に自分ならではのこだわりや工夫を加えています」というらーめんは、パンチがありながらまろやかなスープが、コシの強い中太麺によくからむ。お客さんは団地や周辺の住民が大半で、ぎょうざの持ち帰りや年末のチャーシュー一本売りなど、暮らしに即した商売で地元根づいている。年配客のリクエストで始めた、細麺にあっさりスープの「懐かしの中華そば」も人気だ。



上/子育てを考慮して、自宅に近い百草団地に店を構えた小川さん。父も店を手伝う家族経営。なじみの客も多く、アットホームな雰囲気だ。

左/一番人気は辛味ねぎがたっぷり入った、らいおんらーめん(850円)。醤油・塩・味噌それぞれに深い味わいが自慢。

東京都日野市百草999-2-8-1-112 ☎042-594-7399  
◎11～21時(水曜は～14時) ㊟毎月最終日曜

## Cafeここたの

団地に根づいた  
学生運営のコミュニティーカフェ

国立富士見台団地



学生が手づくりしたケーキは、コーヒーとのセットで550円。



初めての人も入りやすい店構え。並びにはPro-Kが運営する地場野菜販売店「とれたの」や雑貨店「ゆーから」もある。



サイフォンでコーヒーを淹れる樋口さん(左)。店の内装にはカラマツ材が使われ、ほっとする雰囲気を出す。

東京都国立市富士見台1-7-1 富士見台団地1号棟1階104  
☎042-573-9433 ◎11時30分～18時(LO.17時30分) ㊟水曜

「ここたの」という名前には、「ここに来れば楽しい」という意味がこめられています」  
そう教えてくれた店の代表者、樋口龍人さんは一橋大学の2年生。じつはここは一橋大学や津田塾大学の学生たちのサークル「Pro-K」が運営している店なのだ。スタートは14年前。一橋大学のまちづくり授業を端緒に、にぎわいを失っていた国立富士見台団地を含む地域活性化のために、学生たちが商店主や団地商店街、市民と協力しサークルを結成。シャッター商店街状態だったむっさ21に店を立ち上げ、運営に乗り出した。店内の設えもメニューも手作り感覚を重視。コーヒーは注文ごとに豆を挽いてサイフォンで淹れ、日替わりランチの料理の数々はもちろん、ケーキなどのスイーツもすべて自家製。団地をはじめ周囲住民の憩いの場として愛されている。最近では、カフェの運営に興味があつて参加する学生が大半だというが、樋口さんいわく「僕もそうでしたが、活動の中で商店街の人たちや団地の方々と関わりができ、まちづくりや地域への関心が高まりました」  
学生スタッフは17名、市民スタッフは立ち上げの時からいる人も含めて6名。学生スタッフは有償だがバイトより時給は安く、大学のテスト期間中もシフトに入らなければならぬ。なかなか大変で、頑張れるのは好きだからこそ。今年度の卒業生には、ここでの経験を生かしてカフェの企画・運営会社就職した人もいるそうだ。  
商店街や団地のイベントに参加するのはもちろん、楽器演奏でもマジックでもやりたいパフォーマンスを自由に発表できる「ここたのナイト」を月1回開催。また去年から国立市の委託で、中高校生の留学や海外への興味を盛り上げる「グローバルカフェ」を実施するなど、コミュニティーカフェとして交流も育み、地域にしっかりと根を下ろしている。



## 白壁カフェ 花ごよみ



喫茶店文化を極めた  
長居したくなる和カフェ

アーバニア主税町



左/ペット同伴で入れるテラス席もある。

下/大好評のモーニングセットは、おにぎり(おかゆかトーストも選べる)とサラダ、茶碗蒸しと飲み物が付いて410円。

独自の喫茶店文化が浸透している名古屋。「花ごよみ」は朝7時半から23時の閉店まで、モーニング、ランチ、お茶の時間、そして夜のお酒と食事が老若男女に愛されている名古屋らしい和カフェだ。特におにぎりやサラダ、茶碗蒸しと飲み物が付くモーニングセットは団地に住んでいる高齢者に好評で、「ここに来れば話し相手がいるからと、朝から団地の常連さんがよくお見えになります。朝から夕方まで、自宅の居間兼食堂代わりに滞在されるお客さまもいらっしゃいますよ。それが名古屋の喫茶店なんです」とスタッフの遠山光歩さん。ネルドリップで1杯ずつ淹れるコーヒーは、大福などの生菓子がついて410円。「わが家の近くにもほしい」と誰もが思う、愛されるお店だ。

左/甘味のメニューも豊富。

下/ランチで人気なのは、刺身と牛しぐれ煮がのった海鮮花ちらし。



名古屋市東区主税町4-72 アーバニア主税町1階  
☎052-931-2346 ⑧7時30分～23時(LO.22時30分) ⑨なし



## 中華蕎麦 生る

東京の名店で修業した  
名古屋の新年行列店

みやこどおり  
都通団地

東京にあるつけ麺の名店「道」で修業した弓長康成さんが、2016年10月に開いた。きしめんや味噌煮込みうどんが主流の名古屋にもラーメン店は増えているが、なかでもここはいつでも行列している人気店。豚骨、鶏ガラ、数種類の魚介を1日半かけて炊いて作るだしは濃厚で、麺は選り抜いた国産小麦粉を使った自家製。つけ麺は太め、ラーメンは中太で、粉の種類も変えるこだわりようだ。「開店から1年たち、ようやく少し落ち着いたので、これから新しいものをつくっていききたい」と弓長さん。自身が東京でUR賃貸住宅に住んでいて、そのとき1階にある中華料理店によく立ち寄った。「それで店を開くときに、真っ先にURの物件を探しました」。団地によく似合う名店なのだ。

名古屋市千種区豊年町3-18 都通団地1号棟  
☎052-717-6028 ⑧11時30分～14時、18～21時  
⑨月・火曜(変更の可能性あり)



清潔感ある店内。



テレビ局のディレクターから転身、東京で修業して、地元名古屋で店を開いた店主の弓長さん。

上/看板メニューの濃厚塩中華そば(780円)にローストトマトをトッピング。右/店名には、木の葉がいっぱい生るように、生命力にあふれた生き生きとした店にしたいという思いがこめられている。



## 一本堂 北習志野駅前店

いつでも焼きたて  
食パンを極めた専門店

習志野台団地

「一本堂」は毎日食べても飽きがこないと評判の焼きたて食パンの専門店。昨年夏に、千葉県内では3店舗目となる北習志野駅前店が、習志野台団地にオープンした。定番の「一本堂ぶれーん」や、国産小麦だけを使った「ゆたか」、チーズやレーズン入りも人気。「団地内の商店街ということもあって、お客さまとの距離がとても近く、毎日買いに来られる方も多いです」と店主の佐藤忠宏さん。手土産用に買い求めるお客さんも多いそうだ。



上/「焼きたて食パンのファンを増やし、商店街も盛り上げていきたい」と店主の佐藤さん(左)とスタッフ。左/店はエールきたなら商店街にある。



ふんわりモチモチの「一本堂ぶれーん」(1斤260円)。その場で好みの枚数に切ってくれる。

千葉県船橋市習志野3-2-115  
☎047-401-8950  
⑧10時～18時30分(完売次第閉店)  
⑨火曜、第1・3月曜



## Pilly's Bread Company

地域に貢献したい  
その思いでパンを焼く

左近山団地

「お店をやるなら、知った顔が集まる団地の中がいいと思っていた」と話すのは、「Pilly's」店主の佐々木文さん。妻の実家があった左近山団地に店を開いたのは2014年。「商売で地域に貢献したい」との思いを胸に、無添加のパンを良心的な値段で提供している。常連さんの9割は団地の人で、高齢者も多い。「すぐに食べられるパンは、じつは高齢者向きなんです。幅広い年齢層を意識してパンを作っています」と笑顔で語った。



上/毎朝3時半に起きてパンを焼く佐々木さん。左/常時60種類がそろっている。「無添加で安心なので、友達へのお土産にする方もいます」と佐々木さん。

横浜市旭区左近山1186-6 左近山団地7-10-103  
☎045-520-3245 ⑧10～18時 ⑨不定休



## 地域リビング プラスワン

誰でも歓迎  
笑顔いっぱいのおうちごはん

高島平団地



上/誰でも気軽に利用できるコミュニティスペース。



右/この日の「おうちごはん」は、鶏肉の白菜巻きがメインの「こうさんの簡単ごはん」。

NPO法人ドリームタウンが運営する「地域リビング プラスワン」は、孤立しがちな高齢者の居場所づくり、子育て支援のために2013年にオープンしたコミュニティスペース。地域のボランティアが調理を担当して、「おうちごはん(お昼ごはん)」(1食400円～)を提供している。「ここで会話をしながら楽しく食事してほしい」と学生時代から高島平の地域コミュニティに携わってきた代表理事の井上温子さん。作る人も食べる人も笑顔があふれるスペースだ。



代表理事の井上温子さん。

東京都板橋区高島平2-28-1-102 ☎03-6906-6578  
⑧11～16時(火・金は子ども食堂16時～20時30分)  
⑨不定休



## ロイヤルキッチン

おひとりさまから  
家族連れまで大満足

習志野台団地

昨年12月に、団地にあるエールきたなら商店街にオープンしたばかりのインド料理店。おすすめは5種類のインドカレーとスープ、サラダ、ナン、ライス、デザートが好きなら食べられるカレーバイキング(90分間、1080円)。「団地の方や地域の方に愛されるお店にしたい」とオーナーの関口信弘さん。お子様セット(540円)やシニアセット(691円)、テイクアウト(540円)など、幅広い世代に向けたメニューも充実している。



カレー1種類とサラダ、ナン(またはライス)がついたAセットは691円。一番人気は、マイルドなバターチキンカレー。

千葉県船橋市習志野3-2-104  
☎047-401-7325  
⑧11～22時(LO.)  
\*バイキングは21時(LO.)  
⑨なし

「デザイナータイムも1080円でカレーバイキングが楽しめます」とオーナー関口さん(左)とスタッフの皆さん。



藤寿司

コスパの良さでランチは行列必至の人気店 若山台中央団地

京都との県境に近い大阪北部、若山台中央団地にある「藤寿司」は、11時の開店前から行列ができる人気店。寿司定食(上)を頼めば、その理由はすぐわかる。新鮮なネタの握りが12貫と、鉄火の手巻き寿司、味噌汁にデザートがついて1300円(税抜)。その味と量に対して、この値段は誰もが納得、大満足となる。「ごく当たり前にやっているだけ」と力みのないご主人酒井健次さん。夜は東北の日本酒と一品料理も味わいたい。



天井が高く、落ち着いた設えの店内は、団地ということを完全に忘れさせる。

大阪府三島郡島本町若山台2-6 2棟103号  
☎075-962-6648  
🕒11時~13時30分、17時30分~21時  
🌞月曜

麵厨房 華燕

自家製芝麻醬と肉みそが絶品担担麵の秘密 富田団地

担担麵を求めて団地の外から来るビジネスマンや大学生で、昼時は行列ができる。おいしさの秘密は「豚肉を粗挽きにして作る肉みその食感と、ゴマを控えめにした自家製芝麻醬」と店主の山崎利勝さん。

一番人気の汁なし担担麵は、ミョウガとねぎ、大葉とカシューナッツがアクセント。ホテルの中華料理のテクニックをしていただけあり、辛さのなかに奥深い味わいがある本格派。その味がリピーターを生んでいる、富田団地の看板店だ。



右/一番人気の汁なし担担麵(800円)。辛さを求めるなら、麻辣やハバネロ山椒で調節する。

左/店主の山崎さんは神戸で震災に遭い自宅が半壊。団地なら子育てしやすいだろうと、1996年にここに移り、店を開いた。

大阪府高槻市牧田町7-54-109  
☎072-693-8808  
🕒11時30分~14時、18時~20時30分  
🌞月・火曜

洋菓子工房SAKON

団地に愛された洋菓子の名店 住吉団地

住吉団地に出店したのは偶然だった。だが、店主の左近 誠さんは今、団地に店を作ってよかったと心から思っている。

「ここは隣近所の距離が近くて、皆さんフレンドリー。開店したときは『がんばってな』と声をかけていただき、『おいしいから宣伝してくわ』と団地の皆さんがうちのケーキを広めてくれました。この団地に育てられたといっても過言ではありません」

今では常連さんのほとんどは団地のお客さまで、この方は何号棟とわかるまでに。

もちろん洋菓子のおいしさは折り紙つき。生クリームやスポンジなどベーシックな部分にこだわった、飽きのこない味が愛されている。その評判は団地外まで。地元マスコミの取材を受けるほどの人気店だ。



オーナーの左近さんは、28歳でサラリーマンから転職してケーキ店で修業を積み、34歳で住吉団地に店を構えた。



一番人気のロールケーキ(880円)とクッキーシュー(190円)。ロールケーキはスポンジがきめ細かく、生クリームとのバランスが絶妙。店ではたまごを使わないスポンジも常備しており、オーダーがあれば、低アレルギーのケーキを作ることもできる。



近くにある大型スーパーで買い物した人が、帰りに立ち寄ることが多いそうだ。店は団地の外からも目立つ所にある。

団らん処 和菜屋

ここは団地の台所 多世代に人気の惣菜がズラリ 金田一丁目団地

作業療法士時代、一人暮らし高齢者の食事の偏りが気になっていたという三村和礼さん。地域とのつながりをもたない孤独な高齢者の存在にも危機感を抱き、「食を通して人が集まり、人とつながれる場をつくりたい」と2015年7月、金田一丁目団地にこの店をオープンさせた。食の提供だけでなく、心の拠りどころになれる「団地の台所」を目指している。

一人でもいろいろな料理が選べるよう、名物のイワシのぬか炊きや地元野菜の煮物など、惣菜は常時20種以上。少量パックで値段もリーズナブルに設定し、お弁当には温かなごはんを盛りつける。毎日来る団地の常連さんも多く、お客さん同士のつながりも生まれた。隣にはデイサービスもあり、地域コミュニティの拠点として存在感を増している。



調理と販売は地元の女性たちが担当。



店内は地元九州の日田杉を使った落ち着いた雰囲気。高齢者が作ったハンドクラフトなどを展示するスペースも設けている。



さまざまな世代を意識した惣菜が並ぶ。



依頼があれば、団地内には配達もしている。

北九州市小倉北区金田1-1-6 6号棟1階  
☎093-953-7570 🕒10~19時 🌞日曜・祝日

GA.RAGE2

仕事帰りに気軽に立ち寄れるイタリアンバル 船場淡路町

ここは「団地のお店」という範疇にはおさまらない人気店。URの船場淡路町が立つのは、大阪の中心部に広がるビジネス街。その1階に2015年にオープンした「GA.RAGE2」は、豊富なワインをそろえたイタリアンバルで、昼も夜もビジネスマンや若い女性たちでにぎわっている。店長の宮崎 悟さんのおすすめは、牛ハラミ黒胡椒焼きや菜園サラダ。自家製の薫製も人気だ。



上/ガレージを意識した造りの店内に立つ、店長の宮崎さん。左/人気メニューのガレージ菜園サラダと、牛ハラミ黒胡椒焼き。

大阪市中央区淡路町2-4-7  
☎06-6201-6828  
🕒11時30分~14時30分(LO.14時)、17~24時(LO.23時)  
🌞日曜・祝日

喫茶店 uzuビバレツヂ

ホット心がほぐれる 京都の隠れ家カフェ 壬生坊城第二団地

UR担当者の「オシャレ、とにかくオシャレです」の言葉に誘われ訪ねてみると、たしかに団地の1階とは思えないステキな空間が。「少しでも現実から離れられる異空間にしたい」と店主の勝間田菜穂さんが言うその店に、団地に住む80代のおばあちゃんから観光客まで、さまざまな年代の人がやってくる。春や秋には裏口を開け放し、店内に気持ちのいい風が舞い込む。イベントも多く、新たな出会いが人をつなぐ、その中心にこの店がある。



ネルドリップのコーヒーとトーストのモーニングセット。

京都市中京区壬生坊城町48-3 壬生坊城第二団地1棟108  
☎075-756-1233  
🕒8~20時(金曜は~23時) 🌞日・月曜

店主は10年ほどこの団地に住んでいたことがある。「店を開いてから、団地の人たちとのつながりが生まれました」





団地の皆さんが待ち望んでいたスーパーが昨年12月9日に開店。同時に百円ショップも出店した。

**商店街が心機一転  
団結して頑張っている**

1973（昭和48）年に供給を開始したみさと団地（埼玉県三郷市）は、総戸数じつに6730戸。2008年に団地近くのJR新三郷駅（武蔵野線）がリニューアールされ、ららぽーとやコストコ、イケアなどの大型商業施設が相次いでオープン。近隣からも人が集まるにぎやかな駅前が誕生した。

この新三郷駅前の開発で、みさと団地の南地区は通勤にも買い物にも便利とあって子育て世代から注目され、高い人気を誇っている。この団地の中央に位置する商店街「センターモール」は、自治会

主催の夏祭りの会場となるほどの広さを誇る。郵便局や市役所の出張所といった公的機関をはじめ、さまざまな商店や喫茶店、レストラン、集会所などの団地のコミュニティ活動拠点、URの管理サービス事務所などが集まる、いわば団地の中枢部だ。

この一角には大型スーパーがあったが、11年に撤退。以来、空き店舗となっていたところに昨年12月、新たなスーパーと百円ショップが開店した。これに合わせて、商店街ではリニューアールセールとスタンプラリーを実施、週末には広場でクリスマスマルシェを開催して、商店街にたくさんの人を呼び込んだ。



1万人以上の人々が暮らすみさと団地。外壁修繕が行われており、「MISATO TONE」と呼ばれる色でコーディネートされた住棟が見える。

# 元気な みさと団地に URで二番目に 大きな団地

URで二番目に多い戸数を誇るみさと団地は、南地区、中央地区、北地区に分かれている。昨年12月、その中央商店街に6年ぶりにスーパーが開店して、商店街に活気がよみがえった。URでは団地活性化に向けたさまざまな取り組みを支援。団地を盛り上げようと自治会も頑張っている。そんな話を伺いに、元気なみさと団地を訪れた。

# 行ってみた！

WEB UR PRESS

「UR PRESS」オンライン版で、パソコンやスマホからドローンで撮影したみさと団地の動画がご覧いただけます。



（2018年4月末まで）

Pick up  
1  
みさと

## 全国でも珍しい 焚き火専門店を発見!

イルピフ  
iLbf

静岡や栃木など県外からの来店者も多い「iLbf」。「I love the bonfire (私は焚き火が好き)」の頭文字から取った店名が示す通り、火に特化したユニークなアウトドア専門店だ。「とにかく焚き火が大好きなんです」と言うオーナーの堀之内健一朗さんは、脱サラして2016年10月、みさと団地南商店街「グレンタ」にこの店を開いた。

店内には、持ち運びができるキャンプ用の薪ストーブがずらりと並び、焚き火台やランタン、ケトルから、カシヤクヌギなど樹種と乾燥の度合いが異なるさまざまな薪まで、見ているだけでワクワクするものがそろっている。

昨年秋にはもう1店舗借りて、そちらは実際に火を燃やすデモンストレーションのスペースに。「長い人は7時間もいました」と堀之内さんが言うように、誰もがここに来るとついつい長居してしまう。みさと団地の一角で、強い個性を放っている店だ。

埼玉県三郷市彦成4-4-17 みさと団地南商店街104 ☎048-951-4949  
◎11~19時(平日)、10~20時(土曜)、10~19時(日曜)  
Ⓜ月曜、隔週火曜



「妻から、サラリーマン時代より笑顔が増えたと言われる」と笑う堀之内健一朗さん。



火起こしグッズを紹介するなど、団地の防災イベントにも協力している。

## NPOと自治会が 協力して団地を見守る

元自治会会長の海瀬正一さんは、現在NPO法人いきいきネットの代表理事だ。

このNPOは6年前、三郷市とURが協力して立ち上げた地域ふれあい・見守り拠点「ほっとサロン・いきいき」をセンターモールで運営している。これは三郷市に



上/団地自治会のメンバー。左から、元会長で、現在はNPOの代表理事を務める海瀬正一さん。現会長の小橋恒夫さん、副会長の石田和幸さん。右端は、活動を支援するURの団地マネージャーの久保有美子。左/自治会最大のイベント、夏祭り。



1974年から中央商店街で自転車店を営んでいる関根励さん。センターモール協同組合理事長を40年以上務めている。



昨年12月にはセンターモールの広場にクリスマスマルシェも登場。

## 多世代が集い 笑顔になれる場所

長の間根励さんはこう語った。

関根さんが営む自転車店の並びには、親子連れから高齢者までさまざまな年代の人が足を運ぶお店がある。みさと団地の新たなコミュニティ活動拠点「みさとのおみせ mi\*akinai」だ。

伺っていると、「今夜は居酒屋の日だね」と高齢の男性が店をのぞきに来た。「6時からですよ」と笑顔で返す吉川さん。

団地に住むさまざまな年代の人々が、ここで出会い、交差していく。

## 新しいイベントも企画 自治会の存在感アップ

昨年3月からみさと団地自治会の会長を務めるのは小橋恒夫さん。7月下旬の夏祭り、10月の地球市民フェスタ、バス旅行といった自治会のイベントに、昨年からは新た

「じつはスーパーが撤退してから、商店街の客足は落ち込んでいました。団地住民の高齢化も進んでいます。今回のスーパー出店を好機ととらえ、再び商店街に団地のお客さんを呼び込もう、組合のみんなが心機一転頑張ろうと、気持ちがひとつになっていきます。商店街として、これからいろいろな企画を仕掛けていきたいと考えているところです」

「多世代の方が、みんな笑顔になれる空間をつくるのが、私たちの目標です。まだ始めたばかりですが、主にコミュニティカフェとイベントの開催、スペースのレンタルを行っています。カフェでは平日の朝にワンプレートのモーニングセットを提供、月1回は夜の居酒屋も始めました」

吉川さんと、スタッフの山田絵里子さんも子どもを持つママだ。毎週火曜の午後は「キッズカフェ」と称して、子ども連れのママたちにスペースを開放。ここで子どもの面倒を見てもらいながら、飲み物やお菓子持参でおしゃべりする時間を設けている。子育てに手一杯で外に出て来られないママたちが、ここに来て気分転換できるような企画も考えているという。

「ひとり暮らしの高齢者と子どもたちがふれあう機会もつくりたいですね」と吉川さん。そんな話に加わったのが、子ども向けの映画鑑賞会だ。

「改修された集会所に大型スクリーンが設置されたのを機に、昨年はじめて開催したのですが、親御さんを含め80人近い参加者があり、とても喜ばれました」と小橋会長。

自治会活動を盛り上げ、イベントが団地の皆さんの交流の場になるようにと、会長はじめ役員のみんなで知恵を絞っているという。「例えば夏祭りの催しとして子どもたちに発表の場を設けたり、子どもたちにもボランティアをしてみようなどとして、参加者を増やす工夫をしています。また、皆さんに満足いただけるよう、抽選会の景品も豪華にしているんですよ」と副会長の石田和幸さんが言う。



「みさとのおみせmi\*akinai」を運営する吉川真由さん(右)と山田絵里子さん。mi\*akinaiは2店舗分のスペースを借りており、片方のスペースには、ここで小さな商いを行う個人商店用の棚を用意している。





左/NPO法人ささえあいの会みさとクローバーの防越紀子さんと、大人気の麻雀サロン。  
下/南商店街「グレンタ」にある「四丁目のクローバー交流サロン」。



「夫を亡くしたことをきっかけに、仲間を募って助け合いの会を始めたい」と話すのは、NPO法人ささえあいの会みさとクローバー理事長の防越紀子さん。病院の送り迎えや買い物代行、子育て支援など、会員制の支え合い活動は1時間700円。サロン活動も活発で、介護予防サロンとして麻雀や将棋、会食などを定期的に開催、特に麻雀は大人気だという。

自身もみさと団地に住んでいる防越さん。「次々と企画を考えるのは大変ですが、こういう活動が

### 子どもから高齢者まで支え合いの輪が広がる

NPO法人MIKOねっとは子育て・子育て支援を活動の柱に、南地区の集会所を利用して、小学生の放課後子ども広場や、高齢者の生きがい講座などを開催。みさと団地北地区でも、高齢者のサロン事業を始めている。

代表理事の工藤トモさんは「地域の子どもたちを中心に、大人も高齢者もつながって、そのネットワークが広がるようなお手伝いできれば」と活動を説明してくれました。

「夫を亡くしたことをきっかけに、仲間を募って助け合いの会を始めたい」と話すのは、NPO法人ささえあいの会みさとクローバー理事長の防越紀子さん。病院の送り迎えや買い物代行、子育て支援など、会員制の支え合い活動は1時間700円。サロン活動も活発で、介護予防サロンとして麻雀や将棋、会食などを定期的に開催、特に麻雀は大人気だという。

自身もみさと団地に住んでいる防越さん。「次々と企画を考えるのは大変ですが、こういう活動が



ランチのナポリタンスパゲティ。カフェメニューもいろいろある。

### 1杯のコーヒーでほっとする時間をどうぞ

Pick up  
2  
みさと

#### 香りの郷

「1杯のコーヒーとともに、ここでゆったりした時間を過ごしてもらえればうれしい」と話すのは、みさと団地南商店街「グレンタ」にあるカフェ「香りの郷」のオーナー山口美香さん。

カフェをやってみたくと物件を探しているときに、偶然この団地と出会った山口さん。それまで団地との縁はなかったが、今では住まいもみさと団地においた。

大好きなコーヒーのおいしさにこだわり、注文を受けてから豆を挽き、淹れたてを提供している。お客さんは団地の方が多く、年配の方もよくいらっしゃる。そんなお客さんのおしゃべりが楽しいと山口さん。

ランチはナポリタンなど数種あり、スープとサラダ付きで750円。静かな空間で落ち着いた時間を過ごせるカフェだ。

三郷市彦成4-4-17 みさと団地南商店街  
☎048-934-5414 ☎9~18時  
☎月曜(祝日は営業、翌日休み)、毎月最終日曜



落ち着いたシンプルな内装。

### Pick up 3 みさと 団地の中の畑で誰でもファーマーに

#### シェア畑みさとだんちファーマーズガーデン

団地の南地区、テニスコートがあった一角に畑を見つけた!

「シェア畑みさとだんち ファーマーズガーデン」はサポート付きのレンタル農園。利用者は2×4メートルの1区画を借りて農作業を行うのだが、土地を借りるだけの市民農園とは異なり、ここでは専門スタッフが立てる年間の作付け計画に沿って、用意された種や苗、農具を使い、野菜づくりに取り組むのだ。スタッフによる講習会が行われるので、利用者ははじめてでも安心して野菜づくりを楽しむことができる。

「春から夏にはミニトマトやきゅうりなど、年間を通して15品目以上の野菜が収穫できます。親子で参加される方も多く、仕事帰りに畑に立ち寄って、夕飯用に野菜を収穫される方もいますよ」と農園スタッフの小川友明さん。

広い空間をもつ団地ならではの新たな試みに、共感の輪が広がっている。

シェア畑農園運営事務局  
☎0120-936-466

芋煮会など季節のイベントも開催され、参加者に好評だ。



家族で野菜づくりを楽しむ人が多い。団地外の人でも利用できるが、団地住民は利用料が割り引きになる。

みんなの支え合いにつながればうれしい」と話していた。

みさと団地はとにかく広い。建物と建物の間隔が広く、木々や植物も豊富で、景色は変化に富んでいる。緑豊かな大きな公園に包まれているような雰囲気だ。

その団地には赤ちゃんから高齢者まで、さまざまな年代の人が住んでいる。多世代の大勢の人々が住んでいるからこそ、皆で支え合い、寄り添って暮らしていける。そんな団地の可能性を感じさせる、元気なみさと団地だ。

団地を愛する皆さんの熱いタッグに期待が寄せられている。

南商店街は落ち着いた空間

新三郷駅に最も近いみさと団地の南地区は、外壁修繕や耐震改修工事が完了し、4年前には商店街も「グレンタ」と名づけられ生まれ変わった。「グレンタ」とはスウェーデン語で「森の中の小さな広場」という意味。その名の雰囲気を感じさせるように、芝生の広場を囲んでL字形に並んだ商店街は、モダンでオシャレ。

ここは子育て世代を意識したエリアで、子育て支援NPO「MIKOねっと」、多世代交流NPO「ささえあいの会みさとクローバー」、小規模保育園「ニチキッズ新三郷保育園」と、集会所が集まっている。

それらの施設が入っている二つの棟の2階にある11戸は、イケアコーディネート住宅だ。スウェーデンの家具メーカーイケアとURがコラボし、イケアが内装をコーディネートした。そのオシャレな部屋は若い世代に人気が高く、常に満室が続いている。



上/子育て支援NPO「MIKOねっと」の事務所がグレンタにある。代表理事の工藤トモさん(中央)とスタッフ。左/南商店街「グレンタ」。2階が若い世代に人気のイケアコーディネート住宅だ。



左／二葉の里の北側にある広島東照宮(奥)と、公園のシンボルである被爆樹木「クスノキ」。



下／公園として整備された二葉の里歴史の散歩道。



左／「広島市さん、JR西日本さんのパートナーを目指した」と話すURの吉江。



右／広島市道路交通局の黒岩さんは、「市民の皆さんに喜ばれているのがうれしい」と話す。



新しくなった新幹線口広場とペDESTリアンデッキ。向かって右側には高速バスや広島空港へのリムジンバス、タクシー乗り場、向かって左側には市営駐車場が整備された。写真協力：大林・広成JV(撮影：(株)西日本写真)



上／「折鶴」をはじめ随所に広島らしいデザインが見られる自由通路。



右／ペDESTリアンデッキから新幹線口広場を眺める。正面はシェラトングランドホテル広島。



上空から眺めた広島駅周辺。駅北だけでなく、南側も再開発が進んでいる。写真協力：大林・広成JV(撮影：(株)西日本写真)

URのまちづくり  
最前線 6

# 二葉の里土地区画整理事業、関連公共施設整備 広島県広島市 生まれ変わった広島駅周辺が 新たなにぎわいのまちになる

広島県の陸の玄関口であるJR広島駅周辺が、大きな変貌を遂げている。駅の南北を貫く広くて明るい自由通路が完成し、新幹線口には、ペDESTリアンデッキと広場、そして新たなまち「二葉の里」が誕生して、人の流れが変わってきた。そのにぎわいを生む現場にURがいる。

## 劇的に変化した 広島駅新幹線口

「お盆や年末に故郷の広島駅に帰ってきた人たちが、新しくなったペDESTリアンデッキから広場を眺めて、『うわあー、変わったなあ』と驚かれる光景をよく見かけます。達成感を感じる瞬間です」  
UR広島都市再生事務所で業務を担当した吉江達也が笑顔でこう話す。

今回紹介するURのまちづくりの舞台は、中四国最大の都市である広島市のJR広島駅周辺だ。かつて駅北側の新幹線口の先には国や国鉄の官舎、鉄道病院や事務所があり、2005(平成17)年にその一部が更地になってからは、およそ県庁所在地の駅前とは思えない寂しさだったという。

中国財務局、広島県、広島市、JR西日本、URは、広島市の玄関口にふさわしい空間を創出するために、地元の方々とワークショップを開き、どのような公園緑地がよいかを話し合い、歴史ある寺社をめぐる散歩道と公園を整備しました。地元の方々に好評です」と吉江。公園では地元主催のイベントも開催されている。

## 三者が緊密に連携し 駅のにぎわいを創出

次にURは広島市からの受託による関連公共施設整備に着手。二葉の里に続く新幹線口広場を整備し、ペDESTリアンデッキを設置、そして駅の南北をつなぐ広島駅自由通路を整備する事業だ。これは広島市、JR西日本とURの三者が協力して行った。

ここでURはおもにペDESTリアンデッキと新幹線口広場の施工を担当。自由通路はJR西日本に工事委託し、三者が緊密に連携しながら工事は進んだ。

「広島市が設計した図面をもとに、施工計画を立て、広島市、JR西日本と調整を重ねながら工事を進めます。週1回の定例ミーティングはもちろん、事あるごとに三者で打ち合わせを重ね、ジグソーパズルのピースをはめていくように、一つひとつの作業を進めていきました」

幹線道路をまたぐペDESTリアンデッキの橋の部分は、道路を長時間通行止めできないため、一晩で架橋工事を完了しなくてはならない。地元や交通事業者

いまちづくりを目指して計画を策定。

URは10年に施行者として新幹線口に隣接した二葉の里土地区画整理事業に着手した。土地区画整理事業とは、土地の形状を整え、道路や下水、公園などを整備して地権者に返す事業。大部分が国有地だったこの事業は、14年に完了した。

広島市道路交通局の技師・黒岩祥太さんは「全国で実績のあるURさんにお願いでよかったと思っています。広島市だけでは、これだけ短期間で事業を完成させられなかったでしょう」と話す。

現在、この二葉の里には広島テレビをはじめ地元企業の本社ビル、病院や専門学校などが建ち、IKEAも出店を予定。新たな人の流れが生まれ始めた。

北側には約700メートルにわたって「二葉の里歴史の散歩道」が整備された。「ここから二葉山のもと一帯には、原爆から生き残った歴史ある寺社が集まっ

などにも工事の計画を伝え、何カ月も前から準備を整えた。

特に夜間の架橋や舗装工事などのときには、どんな事態にも対応できるように体制を整えた。

「じつはURが広島で都市再生の仕事させてもらうのは初めてのこと。広島市やJR西日本との信頼関係にもとづくパートナーシップがあつてこそ、工事を進めることができた」と吉江が言えば、広島市の黒岩さんは、「市は公共事業は得意ですが、URさんにはこれまで手がけた大規模プロジェクトのノウハウがあります。それぞれの得意な分野で連携しながら、スムーズに事業を進めることができました」と振り返る。

工事は順調に進み、昨年10月末に三つの施設は完成した。

「完成記念式典を広島市とJR西日本、それにURの三者でやろうと言っていたんだけど、これまでの努力が報われたと素直にうれしかったです」と吉江。

広島市は古くからの中心地である紙屋町、八丁堀地区と広島駅周辺の2カ所を結び「楕円形の都心づくり」を構想している。二つのエリアが刺激しあつて、周辺のまちを巻き込みながら、広島市がますます発展することが目標だ。

その実現に向けて広島駅周辺ににぎわいを生み出すことは、広島市の未来のために意義のある大切なURの仕事なのだ。





「オール女川」で頑張っています！

上/女川町民生生活課の方々と女川町の住宅担当のUR職員。女川住宅の前で、左から小島啓太郎 (UR)、大野雄作技師 (女川町)、三浦浩技術補佐 (女川町)、佐藤嘉晃 (UR)、山本賢三技術補佐 (女川町)、鈴木隆一 (UR)。



右/桜ヶ丘東住宅のエントランスに設置されたスペインタイトルの壁画。女川の伝統芸能である獅子振りの情景を入居者の皆さんで給付けたもの。

上/4LDKタイプに入居予定の岡利恵さんとあさひちゃん。

右/阿部金一・みつ子さん夫妻は女川港から高速船で約20分の距離にある出島 (いずしま) 出身。金一さんは震災前、出島で漁師をしていた。



桜ヶ丘東住宅のエレベーターホールからは、今後商業施設などが建つ予定の沿岸部の造成地と、その先に広がる女川湾が望める。

## 復興の「今」を見に来て！ 第12回 Part 1 女川町 宮城県

# 「オール女川」パワーで親睦を深め、復興に励む！

豊かな景観を取り戻したい  
桜ヶ丘東住宅の入居式と同じ日の午後、女川住宅では桜の植樹会が行われた。こちらもURが建設を担当した災害公営住宅で、ひと足早く昨年7月末に入居式を終え

が担当した災害公営住宅の特徴だ。これらの配慮は、「建てて終わりではなく、住民の方々のコミュニティ形成に少しでも貢献したい」というUR側の思いのもとで実現したものだ。

「最初にコミュニティスペースの計画を聞いたときは、災害公営住宅にはぜひいたくように思ったのですが、完成したスペースに入居者が集う様子を見て、つくってよかったと感じています」

と話すのは女川町民生生活課の三浦浩技術補佐。経験豊富なURのノウハウやアドバイスなしでは女川町の復興はなしえなかったと語る。事前の入居説明会で入居予定の方に共同制作してもらったスペインタイトルの壁画をエントランス部に掲示したのも、親睦を深めてもらいたいというUR側の提案から実現した。

鹿半島の付け根に位置し、女川湾を抱くように広がる女川町。東日本大震災で約7割の住宅が全壊したこのまちは、もともと平地が1割にも満たないため、山を切り崩しながら造成・建設工事を続けてきた。

今も復興工場の音が響き続けるなか、昨年11月25日に災害公営住宅の桜ヶ丘東住宅が完成し、入居

ている。今回は「女川桜守りの会」から寄贈された11本の桜を敷地内に植樹するのが目的。須田善明町長のあいさつのもと、女川桜守りの会の加納純一郎副会長とUR宮城・福島震災復興支援本部長の佐分英治も参加して植樹した。女川町では東日本大震災で色がなくなったまちに、みんなの手で豊かな景観を取り戻そう、次の世代になぐ美しいまちをつくらうと、10万本を目標にサクラの植樹活動を続けているのだ。

植樹会の後には「女川北区交流会」が開かれ、住民有志による豚汁や焼きそばの提供のほか、住民の方々の親睦を深めるためのビンゴゲームや出し物も。



女川住宅の敷地で行われた植樹会。開花を楽しみに、「神代曙」という名の桜を植えた。



2012年から一丸となって復興事業を進めてきた女川町とUR。入居式を終えてガッツリ握手する須田善明町長(左)とURの佐分英治(右)。

そこには式典を終えてひと息ついた女川町の職員の方々とUR職員が談笑する姿もあった。「女川の人はあたたかく、町役場の人との距離も近い。すぐに顔見知りになるし、ありがとう。お疲れさま」といった言葉をよくかけてもらえます」と佐藤嘉晃をはじめ女川町の住宅計画担当のUR職員は口を揃える。その背景には、日頃から電話やメールで済ませず、役場に向いて顔を合わせて話すなど、コミュニケーションを円滑にするための努力を双方で続けてきたからこそその信頼関係があるのだろう。

「オール女川」で頑張ってきたし、これからも頑張りたいと話す、町の職員とURメンバー。その結束の強さを感じた1日だった。

同じく仮設住宅からの岡利恵さんは家族5人で入居。震災の年に生まれた娘のあさひちゃんは、新居のゆったりとしたクローゼットを見て、「ここ、私の部屋！」と言って喜んでるそう。

桜ヶ丘東住宅は、URが女川町で建設を担当した災害公営住宅としては5カ所目。バルコニーが広く、玄関には見守りと採光の役目を果たす明かり取り窓が設置されている。

また、屋外広場やエントランス、各階エレベーター前など数カ所にベンチを置いたコミュニティスペースが設けられているのもUR式が行われた。高台に建つ桜ヶ丘東住宅のエントランスホールで開かれた入居式で、女川町の須田善明町長は「ここからはまちを一望できるので、完成していく様子、まちのこれからと一緒に見守っていただきたい」と入居者の方々に語りかけた。



2DKから4LDKまで多様な住戸タイプ52戸で構成される桜ヶ丘東住宅。周囲に溶け込む茶系と白でまとめられている。

# 節目の日を迎え 新たな生活のステージへ

復興の「今」を見に来て！  
第12回 Part2  
大槌町  
岩手県

御社地をにぎわいの中心にして広がる、新しい大槌町の町方地区。家や商店も続々と建ち始めている。



大槌町の歴史的、文化的ランドマークだった御社地を再生。池のほとりには、全国でも珍しい純木造3階建ての図書館や多目的ホールが入った施設を町が建設中(4月にオープン予定)。左には御社地町営住宅が建つ。



地元の木材を使い、雁木や瓦屋根を取り入れるなど、周辺の家々になじむデザインになっている御社地町営住宅。



店舗脇の独立壁に、大槌町のシンボル、カモメのモチーフをあしらうアイデアは、入社2年目のUR職員の佐武亜美によるもの。



「町としては、これからのにぎわいと生業の再生に努めていきたい」と語る大槌町復興局復興推進課の中野智洋課長。

きた。それが厳しい設定もクリアできた鍵になったように思います」と肩をなでおろす。

「URが市街地整備事業と災害公営住宅の両方を担うことで、道路などのインフラと住宅を同時に完成させ、最短で入居できるメリットは大きかったと思います」と語るのはURの住宅担当の誂子広だ。岩手県出身で、「UR職員としての定年前の決算に」と志望して赴任。「猛烈に忙しかったが、この仕事に携わってよかった」と語る。こうしたURの働きを、大槌町復興局復興推進課の中野智洋課長は「震災で町の技術系職員をほとんど失ったところからのスタートでした。瓦礫撤去を行いながらの事業で、大規模な土地画整理事業や公営住宅建設の実績があるURさんの協力を得られ、安心感がありました。信頼関係を築き、町の意思を汲み取っていただいたことも大きかった」とその労をねぎらう。

「町としては、これからのにぎわいと生業の再生に努めていきたい」と語る大槌町復興局復興推進課の中野智洋課長。

「待ち合わせスポットとして、住民の方に長く愛されとうれしいです」と笑顔を見せる。御社地近くでいち早く店を開いた「ひびき鮮魚店」の佐々木定伸さんは感慨深げに語る。「仮設に6年いて、昨年9月に店を再開しました。お歳暮に大槌町

## 理想のまちづくり それぞれが奮闘



やっと帰って  
来られました！

御社地の目の前で営業を再開した「ひびき鮮魚店」の皆さん。2代目店主の佐々木定伸さんを中心に、「家族みんなでお店を再開できて、本当にうれしい」と80歳のお母様も元気に接客中。



復興のど真ん中で  
頑張りました！

UR大槌復興支援事務所の前で、左から佐藤海斗、誂子広、村上良介、小出裕之、佐武亜美。

名物の新巻き鮭を送るから、と6年ぶりに来てくれたお客さんもあるし、ようやく思ったように仕事ができるようになりましたね」

造成が終わった町方地区には、新たな家や店が続々と姿を見せ始めた。新しいまちの暮らしにぎわいは、少しずつ、そして確実に再生しつつある。

「今は、スケジュール通りに土地をお返しすることができて、とにかくホッとしています」と安堵の表情を見せるのは、市街地整備を担当したURの村上良介だ。「この現場に来て3年になりますが、寝ても覚めても復興の中にいる生活でした。日ごとに事務所から見る景色が変わっていったのが感慨深いですね」と話す。基盤工事を担当したURの小出裕之も「町や県をはじめ、工事関係者と我々URが息を合わせて事業を推進で

手頃の沿岸部に位置する大槌町。沖合にはNHKの人工形劇「ひよっこりひよたん島」のモデルとなったといわれる蓬萊島が浮かぶこのまちの復興にも、URは力を注いできた。URが主に担ったのは中心市街地である町方地区再生のための土地画整理事業と、243戸に及ぶ町内8地区の災害公営住宅の建設だ。まちの主な機能が集中する町方地区では、全体を平均で2・2メートルかさ上げし、旧市街地を山側に集

約。面積もほぼ半分は縮小して、安全かつコンパクトで暮らしやすいまちづくりが進められてきた。2017年の11月30日には、町方地区の市街地整備事業関連工事がすべて完了。12月15日に最後の災害公営住宅の引き渡しも終え、大槌町におけるURの役割はひと区切り。これでURが岩手県沿岸部で手がけた災害公営住宅もすべて引き渡しを終えるという大きな節目を迎えた。

「今は、スケジュール通りに土地をお返しすることができて、とにかくホッとしています」と安堵の表情を見せるのは、市街地整備を担当したURの村上良介だ。「この現場に来て3年になりますが、寝ても覚めても復興の中にいる生活でした。日ごとに事務所から見る景色が変わっていったのが感慨深いですね」と話す。基盤工事を担当したURの小出裕之も「町や県をはじめ、工事関係者と我々URが息を合わせて事業を推進で



## プロが指南! 防災グッズの新常識 ③

在宅避難に必要なものは、電気・ガス・水道などのライフラインが使えなくなり、お店で食品や日用品の購入ができなくなった場合に、生活を継続するためのアイテムです。毛布や着替えはある物を使えばよいので、特別な防災用品の準備は不要です。

非常用トイレ	マンションにおける最重要品、1人1日5回分を目安に準備。袋を便器にかぶせ凝固剤を入れるタイプが手頃。
水	1人1日3ℓが目安。普段飲んでいるものを多めに買って準備。一部は水でなくお茶や炭酸水でも構わない。
食料	3日分程度は非常食を準備、その他は「日常備蓄」でまかなう。カセットコンロがあればたいいていの物は食べられる。
カセットコンロ・ガス	加熱調理ができると非常時の生活が楽になる。ボンベ1本で60分程度火が使えるので、家族の人数で調整する。
日用品	日用品も防災用ではなく「日常備蓄」をメインに準備。常にストックを持つようにすれば、手間もお金もかからない。



在宅避難で最も重要な備蓄が非常用トイレ。大地震の際、マンションや集合住宅は配管の点検が終わるまで下水を流せない場合があるため、1週間分以上のセットを準備します。



備蓄食料は2種類。まず火を使わずに食べられる「非常食」を3日分準備。加えて、普段食べているものを多めに買い、なくなったら必ず「日常備蓄」で、合計1週間分を準備します。

文・写真 高荷智也(ソナエルワークス代表)

## 避難所へ行かない「在宅避難」の準備

**大**地震などの災害発生時、必ず避難所へ行かなければならないと考えていませんか？じつは全国的に避難所の数や行政が準備する備蓄品は不足気味で、災害時に避難所へ入れる人数は全体の数割に過ぎません。集合住宅の場合、建物が無事であれば、自宅での「在宅避難」を余儀なくされる方が多数になるのです。

たとえ避難所へ入れたとしても、生活環境は決して良いとはいえません。特に乳幼児や妊婦、要介護者や高齢者、持病のある方は、避難所での生活が原因で命を落とすこともあります。災害関連死を防ぐためにも、避難所へ行かずに自宅で生活するための準備が不可欠です。



たかにともや  
「備え・防災は日本のライフスタイル」をテーマに、自身が運営するWebサイト、各種メディアやセミナーを通じて防災を解説するフリーのアドバイザー。  
「備える.jp」  
<http://sonaeru.jp>

## ベランダで楽しむ四季の寄せ植え Flower pot arrangement

文・写真 黒田健太郎

## 壁掛けで楽しむ白いビオラとシルバーの葉物

**ハ**ンギング用のプランターを使えば、限られた空間を利用して立体的に寄せ植えを飾ることができます。玄関先でもベランダでも好きな場所に簡単に移動させることができ、「庭がないから……」と園芸をあきらめていた人にこそ、おすすめです。今回使ったスリットバスケットは、側面のスリット(切り込み)を通すように苗を植えるだけで、簡単に壁掛けスタイルを楽しむことができます。

寄せ植えで、背丈や株姿異なる花を合わせるのはけっこう難しいので、今回のように1種類の花(ビオラだけ)で始めてみるのもおすすめです。生長もその後の管理も一緒ですから、手入れが簡単で失敗も少ないと思います。

地面から高い位置へと飾り方を変えるだけで、見慣れた草花の新しい魅力が発見できますよ。

### 手順

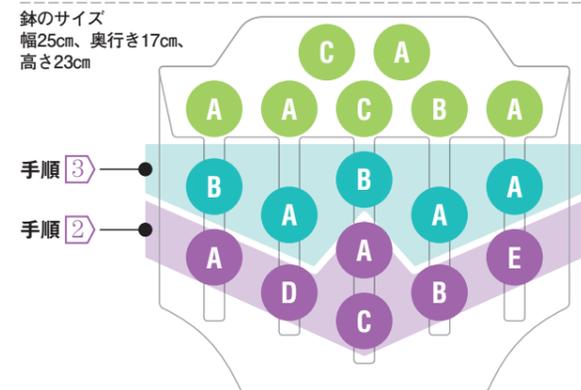
#### スリットの上部から苗を挟み込んで植えたい位置まで引き下げます

- 高さ2cmほど鉢底石を入れ、その上に市販の培養土を1~2cm程度入れる。元肥を培養土に混ぜ込む。
- 花の向きや枝の流れを見て、スリットの上部から苗の株元を挟み込み、植えたい場所まで引き下げる。真ん中のスリットに2苗、それ以外のスリットに1苗を植えたら、苗の隙間に培養土を入れる。
- ②と同様に、さらに1ポットずつ植えて培養土を入れる。
- 上部の苗は、中央を高く左右両端が低くなるよう植え込むと、丸く美しい形に仕上がる。植えるときに、先に植えた苗の根が邪魔な場合は、根鉢を少し左右にずらせばよい。



### 配置図

鉢のサイズ  
幅25cm、奥行17cm、高さ23cm



主役のビオラ(9株)を全体に配置し、その間にハゴロモジャスミン、シロタエギク、オレアリアなど葉の美しい植物を配しています。枝の長いハゴロモジャスミンを下中央に置くことで優雅な流れを表現します。

- A ビオラ×9
- B シロタエギク・ニールック×4
- C ハゴロモジャスミン・ミルクウェイ×3
- D オレアリア・ブラチナム×1
- E プラティーナ×1

くらだけんたろう

埼玉県生まれ。園芸店「フローラ黒田園芸」勤務。自由な発想が生み出す洗練されたスタイルの寄せ植えが熱く支持されている。『12ヶ月の寄せ植えレシピ』(グラフィック社)ほか著書多数。

フローラ黒田園芸  
<http://florakurodaengei.com/>



雪菜の煮びたし  
プチトマト  
丸十(さつまいも)の生ハム巻き

**カキフライの柴漬けタルタル**  
マッシュしたゆで卵に、刻んだ柴漬けと大葉、マヨネーズを混ぜて、隠し味にわさびを少々。

ブロッコリーの白だし漬け

**カキとセリの焼きめし**  
①フッ素加工のフライパンにカキを並べて素焼きにする。両面に焼き色がついたら醤油を回しかけ、カキだけ取り出す。  
②フライパンに残った醤油とおこげにバターをとかし、ごはんを入れてほぐしながら炒める。カキのうまみをごはんにうつす。  
③ごはんがほぐれたらセリを混ぜ入れてサッと炒め、器に盛り付けたら仕上げにカキをのせる。

手入れしやすい塗りの曲げわっぱ弁当箱を最近購入!



**男子弁当**  
スヌメ!

**寒**  
さが増しておいしくなる魚介類。その中でも宮城県でこの時期ならはものといえばカキです。今回は曲げわっぱ弁当箱にカキフライとカキ飯を詰めた「カキわっぱ弁当」を作りました。カキと合わせたセリも仙台では有名な食材です。冬にお店や家庭でよく食べられています。

**カキわっぱ弁当**  
セリ鍋はいたってシンプル。鶏、鴨などのだしでセリをさつと煮て食べるのですが、主役は根っこ。これがなければセリ鍋とは言えません。カキフライに添えた柴漬けタルタルは、板前の頃にまかないで作りました。先輩に褒められてうれしかった思い出があります。

文・写真 相田幸二

1975年、山形県米沢市生まれ。現在は宮城県在住。「幸せ料理研究家」としてテレビや雑誌で活躍。『こうちゃんの簡単料理レシピ』(宝島社)シリーズは230万部を超えるダブルミリオンセラーに。ブログ「こうちゃんの簡単料理レシピ」  
<http://ameblo.jp/wanwan2005/>



UR都市機構からのお知らせ

## SYMPOSIUM

### 地方都市再生を考える リレーシンポジウムを開催

昨年11月15日(土)に浜離宮朝日ホール(東京都中央区)で、今年1月22日(土)にアクロス福岡(福岡市中央区)で、「地方都市再生を考えるリレーシンポジウム」を開催しました。これは地方都市再生に向けた課題や今後の方向性を、シンポジウムにご参加いただいた公共団体や民間事業者の皆さまと共有し、地方都市再生のさらなる推進を図ることが目的です。

当日は地方都市再生に関する最近の取り組みや、URがこれまで手がけた地区の実例などを紹介。パネルディスカッションでは「新しい時代の再開発はありえるか?」をテーマに、3名のパネリストたちによる活発な議論が展開されました。このシンポジウムはリレー形式で開催しており、5月には札幌市で開かれる予定です。



東京会場でのパネルディスカッション。

## PHOTO & SKETCHING

### UR賃貸住宅「暮らしと。」・東日本大震災復興 フォト&スケッチ展2017 入賞作品結果発表

URでは「UR賃貸住宅『暮らしと。』フォト&スケッチ展2017」と、「東日本大震災復興フォト&スケッチ展2017」を開催。全国から多数のご応募をいただきました。ここに大賞受賞作品をご紹介します。URのHPでも入賞作品をご覧いただくことができます。力作をぜひご覧ください。



暮らしと。フォト大賞  
「大大大家族」  
中川有子さん  
新下関団地  
(山口県)



暮らしと。スケッチ大賞  
「楽しいワクワクUR」山口結衣さん  
幕張ベイタウン パティオス七番街(千葉県)



団地景観 フォト大賞  
「夕景」女池智恵さん  
北砂五丁目団地(東京都)



団地景観 スケッチ大賞  
「ワンダーランド」大内響さん  
館ヶ丘団地(東京都)



復興の歩み 大賞(フォト)  
「再会」三浦玲華さん  
宮城県仙台市



復興の歩み 大賞(スケッチ)  
「共に歩む」  
久保安加莉さん  
宮城県石巻市

暮らしと。入賞作品  
<http://www.ur-net.go.jp/urbandesign/sumi/contest2017/result/index.html>

復興の歩み入賞作品  
<http://www.ur-net.go.jp/fukkou-photosketch/contest2017/result/index.html>

### From Editors

団地内の店舗は入りづらい印象がもしあれば、一度足を踏み入れてもらえば、団地ならではの温かさ、居心地の良さを感じていただけるはず。今回ご紹介しきれなかった素敵なお店はまだまだたくさんあります。ぜひお気に入りを見つけてください！(UR都市機構・広報担当AF)

### 次号のお知らせ

「UR PRESS」53号は2018年4月末発行予定です。

### 「UR PRESS」オンライン版も お楽しみください！

「UR PRESS」はパソコンやスマートフォンでもご覧いただけます。巻頭インタビューや記事のオリジナル動画なども掲載しています。ぜひご覧ください。

UR PRESS で 検索  
<http://www.ur-net.go.jp/publication/web-urpress/>



プレゼント付きクロスワードパズル

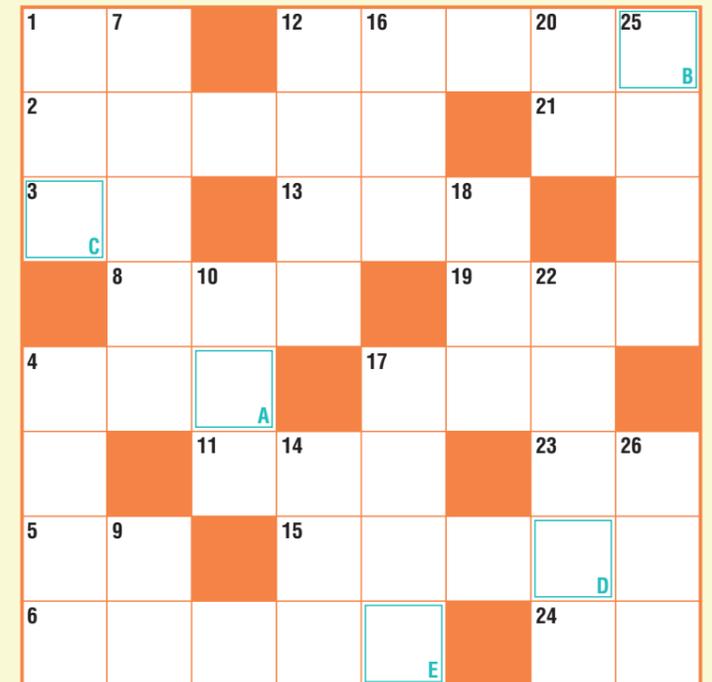
パズル制作 ニコリ

### ヨコのカギ

- 「緑」や「紅」や「番」のある飲みもの
- のストライク、見逃し三振してしまった
- 地球上の3割ほどはこちら
- 南蛮——の珍しい品々
- 暖房の部屋なので足元からポカポカ
- 目玉焼きやパンケーキなどを作るのに使う鍋
- 本当にあったんです、ノンフィクションです
- 我が家では、私が毎朝ゴミを捨てる——なんです
- 煮物をするのに使います。直径は鍋の内径より小さい
- 音声——に従って機械の設定をした
- ささいな言い争いから——になってしまった
- 打者が持って打席に立ちます
- 元素記号はS
- 社会的なポジション
- 昨日の嵐で、海は——のまま
- 煮たり焼いたりしていない

### タテのカギ

- 酔っぱらって——足で歩く
- 世界三大珍味の1つとされるキノコ
- イノシシの肉の別名。潮を吹くわけじゃないです
- タマゴを割ったら残るもの
- でもう一皿注文しよう
- 2017年11月25日に入居式が行われた、宮城県——町桜ヶ丘東住宅
- 頭にお皿があるという
- 人も建物もいっぱい
- 坊主頭にするときに使ったり
- 首都はベルリン
- まだらのこと
- イタズラ小僧が掘った——にまんまと引っかかっちゃった
- 空で輝きます。地球はこの周りを公転しています
- 盤上を跳んで移動する将棋のコマ



### プレゼント&応募方法

クロスワードパズルを解いて、プレゼントにご応募ください。

**PRESENT 1**  
特別純米酒 墨酒江 2名様

江戸時代に伊達藩や南部藩などの米の集積地として栄えた港町、石巻。この地で作られたキレのよい淡麗の味わいが特徴の純米酒(720ml)です。冷やでもお燗でも！



**PRESENT 3**  
さんま&銀鮭そぼろセット 3名様

本誌25ページで紹介している女川町産のさんまと銀鮭のそぼろ。いずれもしょうゆ味ベースでやや甘め。ごはんによく合い、魚が苦手な子どもでも食べられると人気のそぼろです。



**PRESENT 4**  
金華さば 3名様

石巻魚市場で水揚げされた旬の新鮮な鯖を生のまま「フレッシュパック製法」で詰め、うまみを閉じ込めた水煮缶を3つセットで。脂のノリも抜群です。



**PRESENT 2**  
純米酒 日高見 2名様

墨酒江と並んで石巻が誇る、もうひとつの日本酒。酒づくりに適した水に恵まれた清水町で丁寧に醸造されています。しっとりとしたうまみが魅力の純米酒(720ml)です。



### 51号の解答

カ ド ノ ワ キ

1	ナ	メ	ヨ	ミ	タ	マ
2	ハ	ワ	イ	ツ	メ	カ
		ト	イ	シ	ハ	ネ
3	エ	ビ	キ	ズ	ナ	オ
			オ	チ	ボ	ハ
4	カ	ミ	ン	シ	モ	ン
5	イ	ノ	シ	ミ	ド	リ
6	ワ	リ	コ	メ	ジ	ル

### ●応募方法

本誌付属の応募はがきに、クロスワードパズルの答えと希望プレゼント番号、必要事項をご記入の上、郵送してください。

※応募はがきに記載の2次元バーコードからも応募いただけます。

### ●応募締め切り

2018年4月30日(日)(当日消印有効)  
当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※お酒のご応募は20歳以上の方に限らせていただきます。